

# 障害者施設商品の計数管理セミナー②

日時： 2015 年 10 月 14 日

場所：梅田スカイビル タワーウエスト 2 2 階 会議室

## 【概要】

---

### 原材料の共同仕入れについて

できるだけ有利な価格で仕入れ、利益を生むように

作業所の仕入れは個人商店に近い

仕入量が少ないので大手より割高 発言力も弱い

→共同仕入 可能な作業所数箇所共同して数を増やして仕入

業者も 2 社 3 社から見積もりを取る

### 売価が決まっているときの原価の計算

原価 = 売価 × (1 - 値入率)

作業所商品の市場で狙う位置

大手企業にないところ

地域の原材料を使ったこだわりの商品を買やすい価格で販売

そして量販店の一角に食い込む

### 飲食事業

#### 麦の郷の例

築 100 年の古民家カフェ

ひきこもりのメンバーとともに運営

料理・飲料は地場産・麦の郷で製造した加工品を使用

地域住民の交流の場

現場の計数管理を演習としてやってみる

## 認定 NPO 法人 トゥギャザー 研修会報告

### 商品ロスと値下高

$$\text{ロス率} = \text{ロス高} / \text{実際の売上高}$$

### 値下げ高・値下げ率

$$\text{値下げ率} = \text{値下げ高} / \text{実際の売上高}$$

ロスの原因 技術が低レベル 作りすぎ 過剰仕入 原材料・在庫の品質低下

害虫・ねずみによる被害

ロスの対策 製造量の調整 計画を立てる 技術向上を図る 情報収集・分析

保管の管理 整理整頓 清掃 害虫駆除

### 粗利益高・粗利益率

粗利益高・・・実際に確保できた額(売上げ総利益)

粗利益率・・・売上高に対する粗利益高の割合

$$\text{粗利益高} = \text{売価} - \text{仕入原価} - \text{ロス高} - \text{値下げ高}$$

$$\text{粗利益高} = \text{値入高} - \text{ロス高} - \text{値下げ高}$$

$$\text{粗利益率} = \text{粗利益高} / \text{実際の売上高}$$

### 売上高と売上原価

$$\text{売上高} = \text{売上原価} + \text{粗利益高}$$

棚卸し・・・原材料・商品・販売用資材の手持ち数量と金額を確認すること

正確に粗利英気を算出するためには毎月が適正

### 商品効率と管理

市場価格と比べて高いといわれる作業所商品価格

その中で粗利益高を高くするには・・・

ロスや値下げを減らすのは当然だが、限界がある

そこで・・・売上高の構成比を変える（商品によって粗利益率が違う）

$$\text{相乗積} = \text{売上高構成比} \times \text{粗利益率}$$

粗利益率を高める改善案

相乗積の高い商品の売上構成比を高める努力を

陳列場所の工夫 積極的なセールス

計数管理の基礎②

減価償却費とは

有形固定資産・建物・機械・備品・車両等にかかる費用

長期使用なので、使用可能な期間分割して経費として計上

設備投資

本格的に事業を軌道に乗せるためには必要

事業資金

資金の確保

助成金の申請 金融機関からの融資 私募債の発行 寄付を募る

## 【参加者の声】

---

印象に残ったこと

- ・ロス率、粗利益率の考え方 相乗積を元に粗利益高アップの術を考えることの重要性
- ・設備投資と減価償却の関係 これは将来新しい事業を立ち上げた場合大変重要になることだと感じた。
- ・いろいろな計算方法があり大変
- ・利用者の経済的自立のために柏木さんが事業を起こしてこられたこと
- ・減価償却 商品自体の売上しか頭になく、福祉も時代は自分たちで収益をしっかりつくっていかないといけないと感じた。
- ・いろいろな公式があり、数学を学んでいるようで楽しかった。
- ・減価償却の仕組みと考え方が理解しやすかった

感想

- ・各計算方法もとてもわかりやすかった。理屈も見えやすかった。
- ・新しいものへの試みを積極的にされていて感心した。計算は難しそう
- ・事例が反映された演習で興味深かった。

## 認定 NPO 法人 トウギャザー 研修会報告

- ・初めての言葉に頭がついていけなかった。いずれは必要なことということも感じた。
- ・助成金申請のコツを教えてもらいたい
- ・計算に強くならないといけない
- ・1 回目に比べて進行ペースが早く感じ、一部ついていけない場面があった。